

埼玉県

氏名 齋藤 優気 (さいとう ゆうき)

(満37歳 昭和57年12月7日生)

## 1 推薦の理由

齋藤教諭は保健体育の教科指導はもちろんのこと、生徒指導、部活動指導など全ての教育活動に対し、非常に熱意を持ち取り組んでおり、他の教員の模範となる教員である。

とりわけ、教科指導においては常に研究する姿勢を持ち続け、工夫改善を行っている。

特に協調学習マイスターとしての知識や経験を活かし、積極的に研究発表や各種の研修における指導を行うなど、本県の保健体育の教科指導の指導力向上にはなくてはならない存在であり、中心的役割を果たしている。

以上のことから、本教諭は体育優秀教員に十分値する教員であるため、ここに推薦する。

## 2 被推薦者の「体育授業」の特徴、指導効果、その成果の汎用性、成果を証明する資料等

(1) 体育授業の特徴、指導効果

### ①指導と評価の一体化を図った授業案・単元計画

学習内容及び学習評価を明確にし、カリキュラムマネジメントの考え方にに基づき意図的に授業案や単元計画がデザインされている。「主体的・対話的で深い学び」について明確な指導観を持った上で指導にあたりるとともに「単元を貫く問い」と「1単位時間の問い」を設定し、パフォーマンス評価によるルーブリックを作成した上で評価を行っている。学術的見地を授業に応用し、本質的な学びに到達できるよう指導が工夫されている。

### ②主体的・対話的で深い学びを目指した教師の関わり・教材・教具・学習過程・学習形態の工夫

生徒を支え、生徒同士をつなげ、生徒の学びを広め・深める肯定的な関わりが多くなされている。知識構成型ジグソー法を用いた協調学習を導入し、学習者一人ひとりが主体となって学びながら、他者との関わりを通じて自分の考えを良くしていくような学びが引き起こされている。資料の色分けやICT活用など学習の流れや手順が明確であるなど、効率的な授業マネジメントがなされている。

(2) 成果の汎用性

埼玉県教育委員会ならびに東京大学 CoREF

より協調学習マイスターに認定され県内外において師範・研究授業者、研究発表者、研修指導者、県編成要領や教育誌の執筆等、学習成果、教授方法、評価方法等について広く参考となる実践を行っている。

(3) 成果を証明する資料等

- ・平成27年第43回関東地区高等学校保健体育研究大会資料
- ・令和元年7月埼玉教育
- ・平成31年埼玉県保健主事会保健広報
- ・令和元年第58回全国学校体育研究大会研究紀要

## 3 公的な大会・研修会等で発表した授業実践や講習会の講師を務めた講習内容等の概要

- ・平成27年11月第43回関東地区高等学校保健体育研究大会発表者「協調学習（知識構成型ジグソー法）を用いたアクティブ・ラーニングによる保健学習の指導方法」
- ・平成27年8月～令和元年8月埼玉県中学校・高等学校中堅研修（保健体育）指導者
- ・平成28年11月高知県初任者研修指導者
- ・平成28年1月未来を拓く「学び」シンポジウム発表者・パネラー「授業づくりから見えてきたこと～協調学習の可能性～」
- ・平成28年3月東京大学 CoREF シンポジウムパネラー「教科で語るアクティブラーニング—実技教科における技の習得と思考・判断・表現—」
- ・平成29年11月文科省委託事業「がんの教育総合支援事業」埼玉県「がん教育」授業研究会授業者
- ・平成30年8月～令和元年8月埼玉県養護教諭中堅研修指導者
- ・令和元年第58回全国学校体育研究大会第10分科会授業者

4 勤続年数 16年

## 5 職歴

- |       |                  |    |
|-------|------------------|----|
| 平成17年 | 入間市立 藤沢中学校       | 教諭 |
| 平成22年 | 川口市立 岸川中学校       | 教諭 |
| 平成24年 | 埼玉県立 浦和高等学校（定時制） | 教諭 |
| 平成29年 | 埼玉県立 大宮東高等学校     | 教諭 |